校長通信　第5号　平成29年度（2017年度）9月1日

ご当地うまいもん甲子園県代表獲得

第６回ご当地！絶品うまいもん甲子園（主催：農水省、一般社団法人全国食の甲子園協会）の沖縄大会において県代表と県内企業にて商品化できる権利を獲得しました（８月26日）。二年生女生徒３人です。今後は本格シェフの指導等を受け腕を上げ、全国大会で自慢の「タコソバ」を披露することになります。本校家庭科では、一学期の課題として「沖縄の食」を考えることになっていました。三人で取り組んだメニューが生徒の投票の結果学校代表。その勢いで沖縄代表へと続きました。本人のみでなく、保護者、指導者（教諭）ともに信じられない思いに涙が流れたと言うことです。五分間のプレゼンでは、タコライスの歴史から始まって、沖縄そばにのせることになったいきさつ等を段ボールで作成した手作りのアイテムでアピールしました。本校の前にコンビニがあります、近いうちに陳列されることが期待されます。

吹奏楽金賞受賞

吹奏楽部快挙です。第13回南九州小編成吹奏楽コンテスト大分大会で金賞を受賞しました（８月11日）。練習時間の少ない中で、早朝講座の始まる前の時間で個人の基礎練習。放課後で合わせるという日々。部長で三年生、みんなよく頑張りました。先生、保護者には支えられました。楽器搬送などは自分らだけでは絶対にできません。昨年度は、銅賞なので今回は銀賞に入れば良いと考えていました。本当に嬉しいです。後輩には来年も金、更にその最上位のグランプリ、また、個人賞も受賞することを願います。と、笑顔で話していました。向陽高校の吹奏楽部は24人の小編成で、沖縄大会では県13チーム、南九州15チームの参加がありました。大編成で勝負することを期待したいのですが、それは、県内に強豪校が複数あるのでなかなか…らしいです。いつかは、大編成で全国大会出場を期待しておきましょうか。

アクティブラーニング

次期学習指導要領改訂の視点は、子供たちが「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」ということであり、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力や人間性など情意・態度等に関わるものの全てを、いかに総合的に育んでいくかということである。その指導方法の一つにアクティブラーニングがある。指導法等については今後紹介していきます。私は一斉授業で学び、一斉授業で指導してきました。それが大きく変わっていきます。

三年生自習期間

三年生はこの向陽高校の夏季休暇期間に登校し教室で自習しています。参加は希望者で申請が必要です。場所も指定されています。それでも約80人が参加していました。指導者もそれにつられて質問対応に参加しています。大まかに９時から17時までの８時間です。自宅学習を含め15時間学習となりますか？右記の内容もありますが、なかなか休養の期間はないようです。

校章

円の構成によるデザインで太陽を象徴する。三つの円の組み合わせは、国際文科、理数科、普通科を意味する。

「KOYO」のイニシャルのＫを中央に配し、右側に流れる11本の平行線は向陽高校の躍進の姿を表し、「太陽に向かって成長する万物のエネルギー」をデザイン化したものである。

デザイン　仲元清輝氏

本校では、夏季休暇に入っても子供たちの進学指導を応援するために夏期講座があります。前期７月31日までと後期８月21日からです。夏期講座は午前中の必修講座と午後の希望講座があります。部活動もこのときとばかり普段より活発になります。向陽高校の夏季休暇（８月１日～20日）は自分としては先生方にも休んで欲しいと話していたのですが、８月上旬体育館に足を運んで感動しました。バスケット部は他の部活が休みであることを利用して、近隣の高校生や大学生を招いて４チームリーグをしていました。**われわれの規則では、この期間は一般の部活は禁止ですが合宿はやります。部活動の仲間で三食を共にし、部活に汗を流し心身を鍛えることは大切だと考えています。**その後日、バレー部の４チームリーグもありました。気づいてみると他にも４部活ほどが他の体育館等で合宿していました。先生も生徒も休む期間はあるのでしょうか。と気になりますが、身内のことではありますが、とてもありがたいことです。

地域懇談会

本校は全県区であり離島･北部地区からの生徒も入学してきます。中南部では本校に足を運ぶことも無理なくできるのですが、離島･北部はそうはいきません。それで、宮古・八重山地区（８月18日、19日）、久米島地区（８月25日）、北部地区（９月15日予定）で保護者懇談会を実施しています。質問で多いのは子供たちの学寮での生活の様子です。やはり、お子さんの心配は親の仕事であり特に、日常の生活なのですね。Ｑ：学寮での様子はどうですか。Ａ：勉強あり、歓談あり、楽しそうに過ごしています。Ｑ：閉寮期間中でも何らかの活動に参加できるように近くに宿泊所があればいいのですが。Ａ：近くにはあります。付近を調べて連絡します。Ｑ：様々な手続きで離島では時間がかかります。Ａ：寮生へは配慮が必要であり注意していきます。Ｑ：部屋は２人ペアですがうまくやっていますか。Ａ：三年生同士でペア、一年生と二年生のペアで組んでいます。また、寮生の希望を取り参考にしています。Ｑ：三者面談は学校の日程に合わせた調整が難しいので離島地区は配慮できませんか。Ａ：そのように対応を検討します。また、担任から資料を預かり、地域懇談会において保護者と先生の二者面談でできるか検討していきます（来校しなくてもよいことになります）。